

Q5 呼吸による内部被ばくへの影響は、現在どのくらいなのですか？

A5 平成26年度において福島市の最大値は、
セシウム134 0.000110ベクレル/立方メートル
セシウム137 0.000216ベクレル/立方メートル
 となっております。
 仮にこの濃度の空気を吸い続けた場合、1年間で**2.64ベクレル**が体に取り込まれることとなり、この場合の内部被ばく線量は、
0.000086ミリシーベルトとなります。

(参考1) 自然の放射性物質を吸い込むことで受ける内部被ばく線量は、1年当たり0.48ミリシーベルトとされています。
 ※出典「新版生活環境放射線(国民線量の算定)」(公益財団法人原子力安全研究協会、平成23年12月)

(参考2) 食品中の放射性セシウムの基準値(1kgあたり)は、以下のとおりです。
 ・一般食品 100ベクレル
 ・牛乳 50ベクレル
 ・飲料水 10ベクレル
 ※厚生労働省・平成24年4月1日設定

**ダストモニタの数値に、
 有意な変動があった場合は、
 県のホームページなどで、
 県民の皆様にお知らせします。**



各種モニタリング結果

福島県のホームページでは、ほこり(大気浮遊じん)だけでなく、空間線量や食品、土壌などに含まれる放射性物質のモニタリングの結果も見ることができます。



▶

空気中のほこりに含まれる 放射性物質について



福島県 災害対策本部 原子力班
 〒960-8043 福島県福島市中町8番2号 ☎024-521-1917

詳しくは福島県ホームページをご覧ください。
<http://www.pref.fukushima.lg.jp/>



平成27年3月
 福島県



空気中に浮かんでいるほこり【注1】に含まれる放射性物質について、教えてください。

【注1】空気中には、土壌の舞い上がりや工場などの生産活動で発生するほこり（小さな粒子）が浮かんでおり、「大気浮遊じん」と呼ばれています。

Q1 空気中に浮かんでいるほこりには、どのような放射性物質が含まれていますか？

- A1 ほこりに含まれる放射性物質は、自然由来のものと人工由来のものがあります。
- 自然由来のもの・・・土壌や岩石に含まれる天然のウランやラジウムが変化したラドン（気体）が拡散したもの等
 - 人工由来のもの・・・過去の核実験、チェルノブイリ原発や福島第一原発の事故の際に放出された放射性セシウム等

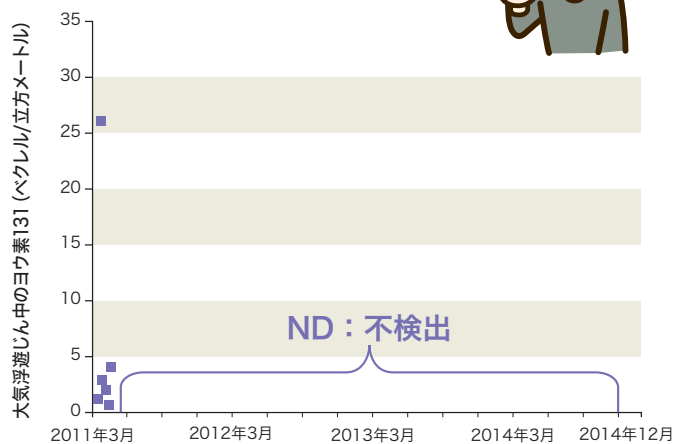
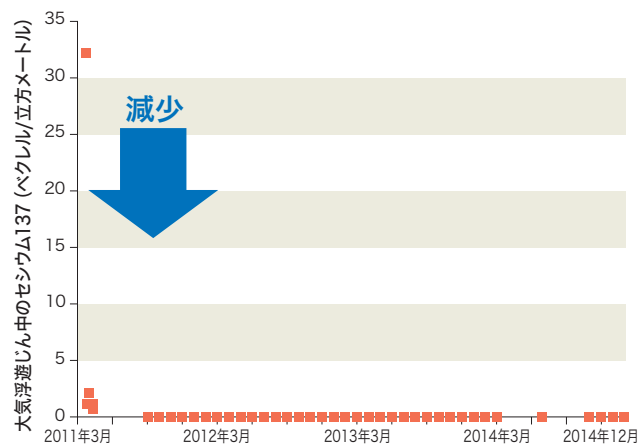
Q2 福島第一原発事故により、空気中に放射性物質が放出されましたが、現在はどうなっているのですか？

- A2 空気中の放射性物質は、雨等によって地表に落ちたため、十分低いレベルになっております。また、空気中に舞い上がる放射性セシウムも、徐々に少なくなっています。ヨウ素131のように、半減期の短いものは、ほぼなくなり、検出されなくなっています。【注2】

事故後と比較すると、十分低くなっていますね。



【注2】放射性物質が全体の半分に減少するまでの時間を半減期といい、セシウム137は約30年、ヨウ素131は約8日です。



測定地点：福島市
 2011年3月～4月は週毎の最大値、2011年5月以降は月毎の最大値を記載
 2011年5月～8月は不検出(検出限界値：約0.6ベクレル/立方メートル)
 2014年4～6月、8～10月は不検出(検出限界値：約0.0001ベクレル/立方メートル)

空気中のセシウムの変化 (2011年3月～2014年12月)

測定地点：福島市
 2011年3月～4月は週毎の最大値を記載 2011年5月以降は全て不検出
 検出限界値
 2011年5月～8月：約0.6ベクレル/立方メートル 2011年9月～11月：約0.001ベクレル/立方メートル
 2011年11月～2014年3月：約0.0003ベクレル/立方メートル 2014年4月～：約0.0001ベクレル/立方メートル

空気中のヨウ素の変化 (2011年3月～2014年12月)

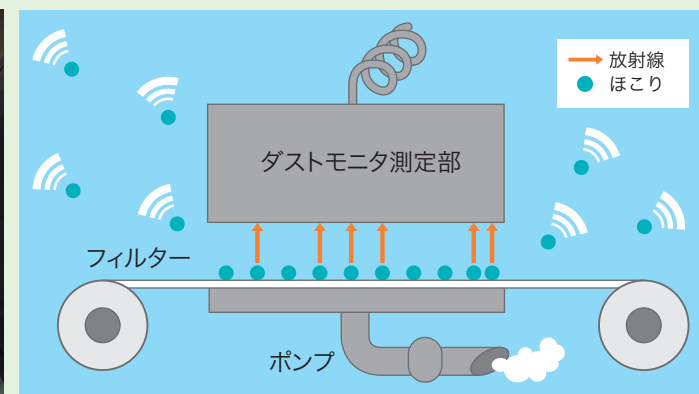
Q3 空気中のほこりは、どのように測定しているのですか？

- A3 ダストモニタ（下写真）は、ポンプにより空気を吸入し、フィルターに付着したほこりに含まれている放射性物質の量を測定し、空気中に人工の放射性物質が含まれていないか常時、監視しています。また、フィルターは回収して、放射性セシウム等の濃度を測定します。結果は、空気1立方メートル当たりの放射性物質の量（濃度）で表します。（単位：ベクレル/立方メートル）

なるほど、こうやって、測定しているんですね。



連続ダストモニタ



ダストモニタ検出部イメージ図 (リアルタイム測定の場合)

Q4 どこで測定しているのですか？

- A4 原子力発電所を方位別・距離別に取り囲むように18地点に連続ダストモニタを設置しています。さらに、県内24地点では持ち運びができる簡易型ダストサンブラにより定期的な測定を行っています。

